

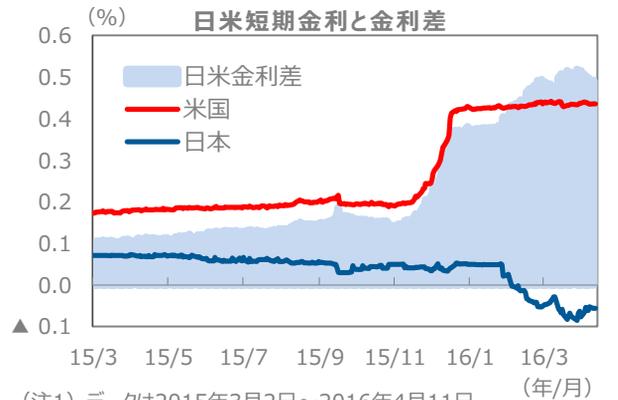
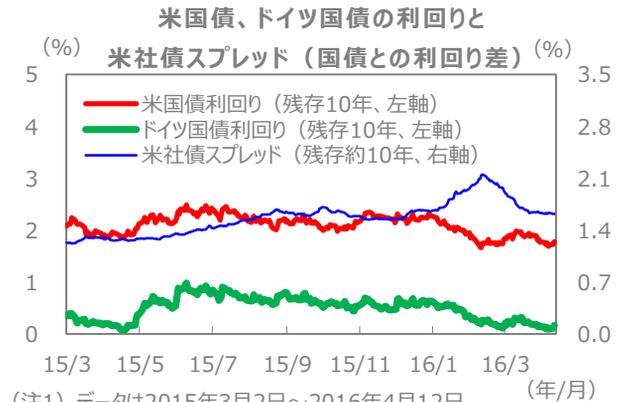
今日のトピック 米国の債券市場（2016年4月） 3月の国債利回りは小幅に上昇

ポイント1 前半の国債利回りは上昇 後半は緩やかに低下

- 3月前半の米国10年債利回りは、上昇しました。月初に公表されたISM景況感指数や雇用統計といった米国の景気指標が改善したこと、株価、原油価格が上昇に転じたことなどから、景気の先行きに対する過度な悲観論が後退したためです。
- しかし、後半の10年債利回りは、15日～16日に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）の声明文がハト派色の濃い内容だったことを受け、緩やかな低下に転じました。
- 結局、3月末の10年債利回りは1.77%となり、前月末に比べ0.04%ポイントの小幅な上昇となりました。

ポイント2 社債スプレッドは縮小 日米短期金利差も縮小

- 米社債スプレッド（国債と社債の利回り差）は、縮小しました。原油価格など商品市況が反発したことに加え、緩和的な金融環境が持続するとの見方が強まり、社債に対する需要が高まったためです。
- 短期金利の動きをロンドン銀行間取引金利（LIBOR）で見ると、日米金利差は縮小しました。



今後の展開 国債利回りは当面のところ低水準で推移する見通し

- ISM指数や雇用統計から判断する限り、米国の景気は緩やかな拡大基調にあります。米連邦準備制度理事会（FRB）は、2016年も利上げを継続する見通しです。
- ただし、FOMC声明文の内容や物価の安定を踏まえると、利上げの速度は緩やかなものと予想されます。国債利回りは当面のところ低水準で推移する見込みです。

ここも
チェック! 2016年4月7日 米国のISM景況感指数（2016年3月）
2016年4月4日 米国の雇用統計（2016年3月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。